

第20回アジア競技大会の開催に向けた検討状況及び今後の取組について

1 開催都市契約（詳しくは、参考資料1「開催都市契約の項目（修正協議中の条項案）」参照）

- ・アジア・オリンピック評議会（以下「OCA」という。）から提示された契約書案（13章・104条）の全条項について検証し、締結に向けた最終調整を実施
- ・平成30年8月19日に、インドネシア・ジャカルタで開催されるOCA総会で契約を締結予定（締結期限：平成30年9月25日）

2 組織委員会

- ・OCA憲章に基づき、大会の準備及び運営を担う法人として、開催都市及び日本オリンピック委員会（JOC）が共同で設立
- ・平成30年4月に設立準備委員会第1回会議を開催し、平成31年5月以降に一般財団法人として設立し、設立後1年以内に公益法人化する方針を決定
- ・平成30年12月の第2回会議で組織委員会の定款骨子、事業計画などを決定するとともに、年度内を目途に評議員・理事を内定予定

3 大会開催基本計画

- ・開催準備の各分野における基礎的な事項と、大まかなスケジュールを示す「大会開催基本計画」の策定に着手（OCAへの提出期限：組織委員会設立後6ヶ月以内）
- ・大会開催基本計画に基づき策定する各分野の諸計画について検討を行うため、第18回アジア競技大会（以下「ジャカルタ大会」という。）の現地調査などを実施予定
- ・大会会期案を2026年9月19日（土）から10月4日（日）の16日間に設定し、8月18日に開催予定のOCA理事会に会期案を提出

《大会開催基本計画の対象分野【15分野】》

大会概要、競技、式典・文化イベント、競技会場・施設（選手村、宿泊施設など）、要員、競技備品、輸送、情報システム、放送・報道、国際関係、国際儀礼（プロトコル）、資格認定（ア krediyテーション）、警備、広報、マーケティング

4 競技会場（詳しくは、参考資料2「第20回アジア競技大会 競技会場の検討状況一覧表」参照）

- ・開催構想で示した候補会場について、市町村からの提案や競技団体の意向、新施設の整備計画を踏まえ再調整中
- ・平成31年夏頃までに、再調整後の競技会場を提示予定
- ・テニス・ソフトテニスについては、東山公園テニスセンターに課題があり、競技会場の変更も含めて検討していたが、アジア競技大会の会場要件を勘案すると、県内で対応可能であるのは当該施設のみであることから、東山公園テニスセンターで開催できるよう対応方法を検討中
- ・メイン会場となる瑞穂公園陸上競技場について、改築に向けた調査などの業務を委託により実施

《業務内容》

- ・35,000席を確保するため、敷地の拡張や高度制限の緩和などによる建築可能性を検討
 - ・建設事業費、維持管理費などを踏まえ、適切な席の割合（本設・仮設など）を調査、検討
 - ・瑞穂公園陸上競技場の収益性を確保するための方策や施設のあり方を調査、検討
 - ・上記の検討を行い、複数の基本計画図を作成し、それぞれの図をもとに、民間活力導入可能性（改築やその後の運営を直営で行うのかPFIなどによる民間活力を活用するのか）を調査し、比較考量
- ・照明や電源など映像制作の観点から、各候補会場の適合性などについて調査を実施

5 選手村

[選手村後利用の検討]

- ・メイン選手村となる名古屋競馬場跡地の将来のまちづくりを見据え、後利用基本構想を検討中
- ・選手村後利用の検討、選手村整備及び事業者募集の参考とするため、民間研究会を設け、事業進出意欲がある民間事業者の提案に基づき、意見交換などを実施（不動産・住宅供給事業者、ゼネコンなど11者）
※詳しくは、参考資料3「民間研究会の対話事業者選定と進め方について」参照
- ・平成30年12月まで意見交換などを実施するとともに、有識者や市民の意見も踏まえ、平成31年度に後利用基本構想をとりまとめる予定

[選手村の検討]

- ・メイン選手村は、後利用施設を大会時に選手村施設として一時使用するとともに、その他必要となる選手村施設を仮設施設で整備するよう検討中
- ・選手村から離れた競技会場は、ホテルや研修所などを活用し選手村を分散
- ・メイン選手村及び分散する選手村について、集合住宅などの施設を選手村として一時使用するための仕様、仮設建築物の工法及びコストについて検討中
- ・メイン選手村の施設規模や配置について、ジャカルタ大会の現地調査や想定される後利用施設の配置を踏まえ検討

6 広報・PR

ジャカルタ大会の開催に合わせ、愛知・名古屋大会のPRを実施

《実施例》

- ・アジア大会ファンラン（平成30年7月7日実施）
- ・オアシス21の夏休みイベントでのPRブース出展やアジア競技大会競技体験会
- ・ナナちゃん人形を使用したPR（平成30年8月15日～8月21日）
- ・ジャカルタ大会の番組CMや在名テレビ局番組内での愛知・名古屋大会のPR
- ・OCA総会などで愛知・名古屋大会や当地の魅力をPR

7 レガシー

ビジョンの検討にあたっては、県市で方向性が異ならないよう、検討状況などを適宜情報交換しながら、以下のとおり策定作業を実施

[愛知県]

- ・スポーツの振興や観光振興、国際交流の促進など、大会を契機に県として取り組むべき地域活性化の方向性や想定される取組を取りまとめた地域活性化ビジョンを、今年度末を目途に策定
- ・策定にあたっては、学識者や経済団体などで構成される有識者会議や学生を対象としたワークショップを開催し、その意見も踏まえ検討（平成30年7月25日に第1回有識者会議を開催）

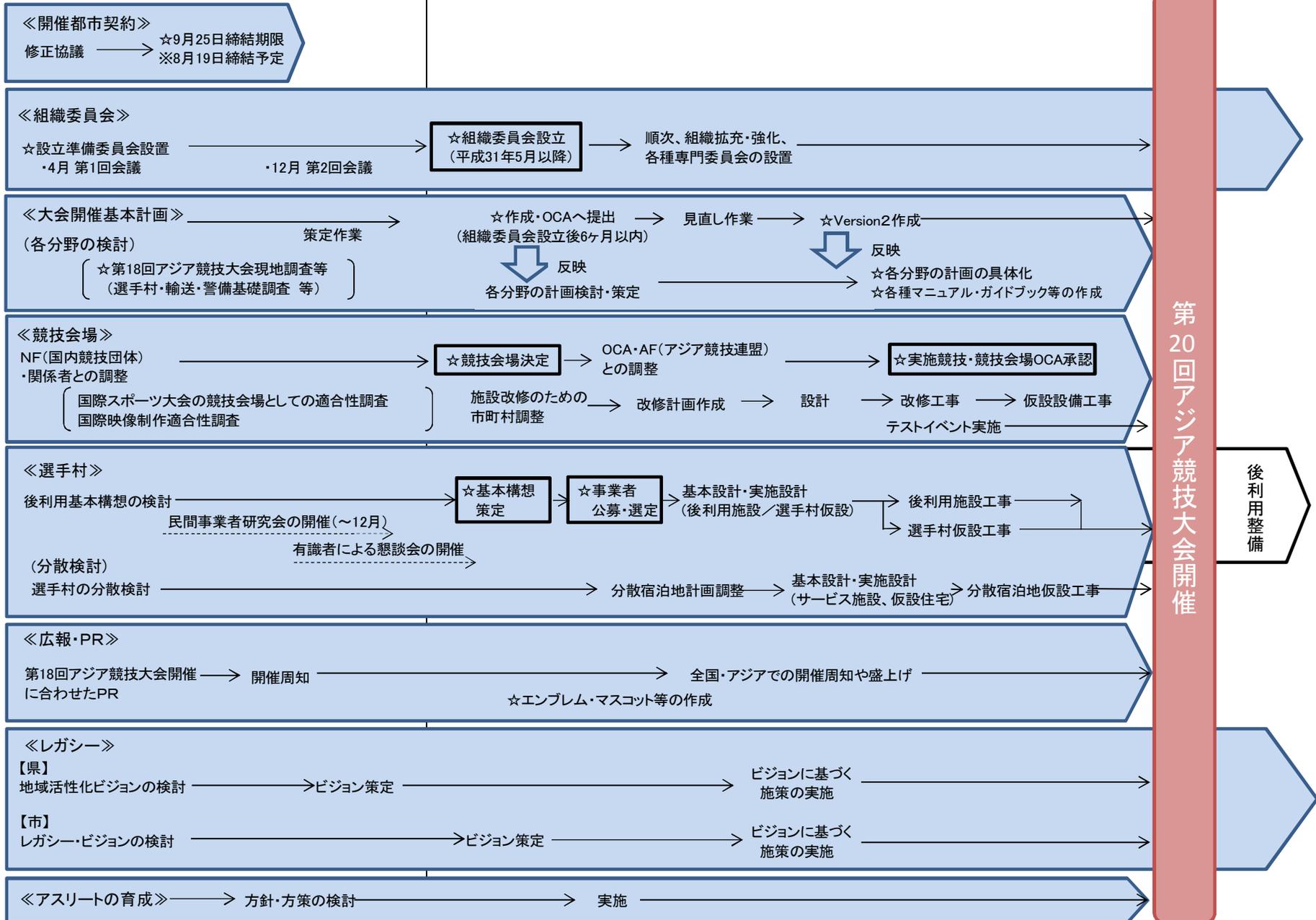
[名古屋市]

- ・大会を通じて遺したいレガシーとその実現に向けた主な取組を明らかにしたレガシーに関するビジョンを、平成31年度からの次期総合計画との整合性を図りつつ策定
- ・策定にあたっては、学識者で構成される有識者懇談会や次期総合計画における市民意見などを踏まえ、ビジョンを検討（平成30年6月4日に第1回有識者懇談会を開催）

開催までの取組予定

平成30年度
(2018年度)

(2019年度～2026年度)



1. 基本原則

1. 1 競技大会の組織運営の委託
1. 2 ガイドライン及びその他の指示の内容の変更
1. 3 競技大会の組織委員会の創設
1. 4 本契約の当事者となる AGOC
1. 5 補償
1. 6 拘束力を伴う表明、保証及び誓約
1. 7 開催国政府の誓約
1. 8 会議の開催
1. 9 競技大会 IDカード/ア krediyteeshon及び開催国への入国

2. 組織運営の原則

2. 1 矛盾する誓約又は活動の不存在
2. 2 契約の有効性
2. 3 輸送
2. 4 環境保護
2. 5 AGOCの基本計画
2. 6 警備
2. 7 安全、防火及び医療サービス
2. 8 特定の要員及び物品のための入国手続
2. 9 AGOCの進捗報告書
- 2.10 調整委員会
- 2.11 相互支援
- 2.12 アンチ・ドーピング
- 2.13 テクニカル・ディレクターの指名

3. 宿泊施設の組織運営

3. 1 選手村
3. 2 メディアの宿泊施設
3. 3 OCAファミリーのための宿泊施設
3. 4 IF及びAFのための宿泊施設
3. 5 その他の宿泊施設
3. 6 競技大会の観客のための宿泊施設

4. 競技プログラムの組織運営

4. 1 競技プログラム
4. 2 デモンストレーション競技
4. 3 テスト（テスト・イベント）
4. 4 各競技に関する最低技術要件
4. 5 競技大会会場
4. 6 競技施設及びトレーニングサイト
4. 7 エントリー

5. 文化プログラムの組織運営

5. 1 文化プログラム

6. 式典及び聖火リレー

6. 1 式典及び聖火リレーのコンセプト
6. 2 式典での実演

7. 知的財産権

7. 1 知的財産権の分類
7. 2 AG-IPのOCAへの譲渡
7. 3 OCA-IPの使用
7. 4 AG-IPの使用
7. 5 AG-IPの保護措置
7. 6 知的財産権保護プログラム
7. 7 OCA-IPの侵害
7. 8 AG-IPの侵害
7. 9 支援及びスタッフの配置
- 7.10 AG-IPのデザイン
- 7.11 サービス提供者との提携関係がないこと

8. 財政面及び商業面の義務

8. 1 競技大会の商業権及び商業収入
8. 2 支払い及び分配
8. 3 財務報告
8. 4 保証預託金
8. 5 競技大会の入場チケット
8. 6 競技大会会場での宣伝、広告及び他の商業活動
8. 7 マーケティングプログラム

9. 競技大会のメディア放送

9. 1 放送サービス
9. 2 情報及び技術

10. 輸送

10. 1 交通管理
10. 2 バス及び鉄道
10. 3 空港
10. 4 駐車施設
10. 5 一般的な交通支援

11. 解除

11. 1 OCAによる契約の解除
11. 2 競技大会統括団体又は本都市による契約の解除

12. 不可抗力

12. 1 不可抗力による免責
12. 2 不可抗力による悪影響の排除
12. 3 不可抗力による本契約の解除
12. 4 解除通知
12. 5 経費の負担

13. 全般的な義務

13. 1 都市の美化
13. 2 電力及び廃棄物除去
13. 3 保険
13. 4 賭け及び八百長
13. 5 法律の制定、改正又は発効
13. 6 債務及び費用
13. 7 報道機関/広報
13. 8 営業時間
13. 9 本都市による全般的な表明及び保証
- 13.10 NOCによる全般的な表明及び保証
- 13.11 OCAによる全般的な表明及び保証
- 13.12 秘密保持
- 13.13 AGOCの報告書及び財務諸表

14. 雑則

14. 1 明示的に参照されていない付属文書
14. 2 賠償金
14. 3 権限の委任
14. 4 競技大会統括団体又はOCAによる譲渡
14. 5 過度の困難
14. 6 当事者の関係
14. 7 OCA憲章
14. 8 優先順位
14. 9 競技大会統括団体と選手、IF又は国内オリンピック委員会との間の紛争解決
- 14.10 署名人の権限
- 14.11 留保
- 14.12 通知
- 14.13 完全なる合意
- 14.14 変更
- 14.15 連帯責任の不存在
- 14.16 可分性
- 14.17 言語
- 14.18 解釈
- 14.19 腐敗の防止
- 14.20 準拠法及び紛争解決
- 14.21 副本
- 14.22 付属文書

第20回アジア競技大会 競技会場の検討状況一覧表

市町村からの提案や競技団体の意向、新施設の整備計画を踏まえ、関係者と調整中

競技／種別		候補会場（平成30年1月時点）	現在の調整状況
水泳	競泳／飛込み	① 名古屋市総合体育館(レインボープール)	
	アーティスティックスイミング*	⑤ 浜松市総合水泳場	
	水球	⑥ サンフロッグ春日井	
アーチェリー		② 岡崎中央総合公園(多目的広場他)	
陸上競技	フィールド/トラック	③ 瑞穂公園陸上競技場	
	マラソン	③ 瑞穂公園陸上競技場(都心コース)	
	競歩	④ 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース	
バドミントン		⑤ ウィングアリーナ刈谷	会場変更も含めて再調整中
バスケットボール		⑥ 豊橋市総合体育館	会場変更も含めて再調整中
		⑦ 一宮市総合体育館	
ボクシング		⑧ 春日井市総合体育館	会場変更も含めて再調整中
カヌー・カヤック	スプリント	⑨ 長良川国際ポートコース(海津市、愛西市)	
	スラローム	⑩ 矢作川カヌースラロームコース(豊田市)	
	ボロ	⑪ 保田ヶ池(みよし市)	
自転車競技	トラックレース	⑫ 伊豆ベロドローム(伊豆市)	
	ロードレース	⑬ 奥三河地域	
	マウンテンバイク	⑭ 小幡緑地	
	BMXレース	⑮ 愛知県国際展示場駐車場	
馬術		⑯ 愛知県森林公園	
フェンシング		⑰ 愛知県国際展示場	
サッカー		⑱ 豊田スタジアム	県外の会場も含めて再調整中
		⑲ 港サッカー場	
		⑳ 豊田市運動公園球技場	
		㉑ ウェーブスタジアム刈谷	
		㉒ 豊橋市民球技場	
ゴルフ		㉓ 愛知カンツリー倶楽部	
体操	体操／新体操／トランポリン	㉔ 名古屋市総合体育館(レインボーホール)	会場変更も含めて再調整中
ハンドボール		㉕ 武田テパオーシャンアリーナ	会場変更も含めて再調整中
		㉖ 名古屋市稲永スポーツセンター	

競技／種別		候補会場（平成30年1月時点）	現在の調整状況
ホッケー		㉗ 岐阜県グリーンスタジアム(各務原市)	
柔道		㉘ スカイホール豊田	会場変更も含めて再調整中
近代五種	ランニング&射撃／馬術	⑯ 愛知県森林公園	
	フェンシング	⑧ 春日井市総合体育館	
	水泳	⑥ サンフロッグ春日井	
ボート		⑨ 長良川国際ポートコース(海津市、愛西市)	
ラグビー		㉙ 瑞穂公園ラグビー場	
セーリング		⑳ 海陽ヨットハーバー	
射撃	ピストル／ライフル／クレー	㉑ 愛知県総合射撃場	
卓球		㉒ 西尾市総合体育館	会場変更も含めて再調整中
テコンドー		㉓ 名古屋市枇杷島スポーツセンター	会場変更も含めて再調整中
テニス・ソフトテニス		㉔ 名古屋市東山公園テニスセンター	左記会場での対応方法を検討中
トライアスロン		－ 調整中	調整中
バレーボール	バレーボール	㉕ 愛知県体育館	会場変更も含めて再調整中
	ビーチバレーボール	㉖ パークアリーナ小牧	
ウエイトリフティング		㉗ 碧南緑地ビーチコート	
レスリング		㉘ 吹上ホール	
		㉙ 岡崎中央総合公園(体育館)	会場変更も含めて再調整中
野球：ソフトボール	野球	㉚ ナゴヤドーム	
		㉛ 岡崎中央総合公園(市民球場)	
	ソフトボール	㉜ 小牧市総合運動場野球場	
		㉝ 安城市総合運動公園ソフトボール場	
ボウリング		㉞ 稲沢グランドボウル	会場変更も含めて再調整中
クリケット		㉟ 愛・地球博記念公園野球場	
カバディ		㊱ 東海市民体育館	会場変更も含めて再調整中
マーシャルアーツ		㊲ 愛知県武道館	会場変更も含めて再調整中
セバタクロール		㊳ (仮称)瑞穂公園体育館	会場変更も含めて再調整中
スポーツクライミング		㊴ ポートメッセなごや	
スカッシュ		㊵ 愛知県国際展示場	

※ 現在の調整状況欄において、空欄としたところは、左記候補会場で調整中である。

民間研究会の対話事業者選定と進め方について

参考資料3

- ・名古屋競馬場跡地の選手村後利用や選手村整備の参考とするため、対話に参加する民間事業者を募集(H30.5)し、以下の11者を選定した。その提案概要は下表のとおり。
- ・民間研究会はH30.7からH30.12までの間で6回程度開催する予定（個別対話を基本。状況により複数での対話）。
- ・後利用基本構想は対話結果を参考に県・市で検討していく。

番号	対話事業者	後利用のコンセプト	提案施設
1	学校法人東邦学園	開放型スポーツ施設を活かす新時代のコミュニティづくり	・サッカー場
2	矢作建設グループ (代表法人 矢作地所(株))	「名古屋の魅力向上拠点」の増強	・温泉を各所に使用した複合型スパリゾート施設
3	イオンタウン(株)	健康・交流・コミュニティの拠点づくり	・商業複合施設
4	(株)竹中工務店 名古屋支店	次世代型まちづくり	・住環境整備 ・先導施設
5	大和ハウス工業(株) 名古屋支社	社会課題の解決に向けた「ダイバーシティ×サステイナブル」なまちの形成	・住居 ・生活利便施設 ・教育医療施設等
6	三菱地所(株) 中部支社	①人が集まりやすい空間の醸成 ②従前イメージの刷新	・住居、商業、産業 ・ビジネス施設（企業ミュージアムやショールーム等）
7	(株)学研ココファン	多世代・地域交流型の地域包括ケア拠点サービス付き高齢者向け住宅	・サービス付き高齢者向け住宅を中心とした地域包括ケア拠点
8	清水建設(株) 名古屋支店	リニア新幹線開通後を見据えたスーパーメガリージョンの一翼を担う サテライト	・住居、生活利便施設 ・展示場施設、物流倉庫
9	(株)長谷工コーポレーション	最適な住まいと暮らしの創造	・分譲マンション ・賃貸マンション
10	ユニホーグループ (代表法人 (株)ユニホー)	活気あふれる“アジア村”	・選手村施設を利用した生活利便施設 ・インキュベーション施設等
11	(株)日本エスコン	新しい街の住民と、地域住民および国際交流ができる街づくり	・住居、生活利便施設 ・スポーツ、アウトドア施設及び温浴施設等

※番号は提案書の受付順